

Misawa 三沢 Atsuhiko 厚彦 ANIMALS



(Animal 2020-03) 2020年
©Misawa Atsuhiko
Courtesy of Nishimura Gallery
Photo by Misawa Atsuhiko

Multi- Dimensions

2023.6.10 sat – 9.10 sun 千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

休室日: 6月12日(月)、19日(月)、26日(月)、7月3日(月)、10日(月)、18日(火)、8月7日(月)、21日(月)、9月4日(月) (第1月曜日は全館休館)

開館時間: 10:00–18:00 (金、土曜日は20:00まで) ※入場受付は閉館の30分前まで 主催: 千葉市美術館 協力: 西村画廊、アニマルハウス、山口製材株式会社

観覧料: 一般1,200円(960円)、大学生700円(560円)、小・中学生、高校生無料 ※障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料 ※()内は前売り、市内在住65歳以上の方の料金

※前売り券は、ミュージアムショップまたはローソンチケット(Lコード: 31188)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて6月9日まで販売(6月10日以降は当日券販売)

※リピーター割引: 本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額 ※ナイトミュージアム割引: 金・土曜日の18:00以降は観覧料半額

※割引の併用はできません。 ※本展チケットで、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

三沢厚彦 ANIMALS Multi-dimensions

キメラのことを考えていると、多次元の存在を感じる瞬間がありそうだ。——三沢厚彦

2023.6.10 Sat.—9.10 Sun.

三沢厚彦が誘う彫刻の「多次元」世界

三沢厚彦(1961-)は動物を樟で彫り、油絵具で彩色する「ANIMALS (アニマルズ)」シリーズで知られる日本を代表する彫刻家です。京都で生まれ育ち、幼い頃から仏像や寺社に親しんだ三沢は、東京藝術大学および同大学院で彫刻を学び、1990年代に流木などを寄せ集めて制作された「コロイドトンプ」シリーズで注目を浴びます。人間の想像力への関心から、2000年より始められた「ANIMALS」は、動物のリアリティを追求していく革新的な造形が高く評価され、全国各地で多くの人々を虜にしてきました。

「三沢厚彦 ANIMALS/Multi-dimensions」は、三沢による千葉県初となる個展です。本展では「多次元」をテーマに、大谷幸夫の設計による千葉市美術館すべてが展示会場となります。そこに棲んでいたかのように親しみやすく、時にどう猛な動物たちに、来場者はさまざまな場所で遭遇することでしょう。この場所だけでしか体験できないサイト・スペシフィックな展示方法もまた、作品と空間の関係への作家独自の思考を示しています。1990年代の初期未発表作から最新作まで、200点を超える彫刻と絵画により、当館の建築物にアプローチしていきます。

KEYWORD
① ANIMALS
アニマルズ



〈Animal 2012-01〉
2012年
Photo by Kato Ken



〈Painting 2022-10〉 2022年
Photo by Okano Kei



〈Animal 2022-03〉
2022年



〈Animal 2018-03〉
2018年



〈Animal 2011-01〉 2011年
Photo by Uchida Yoshitaka



〈animal-C Chimera〉
2023年 個人蔵
Photo by Okano Kei



〈Animal 2015-06〉
2015年
Photo by Watanabe Ikuhiro



〈Painting 2022-03〉 2022年
Photo by Okano Kei

KEYWORD
② Animal House
アニマルハウス



アニマルハウス〈カカオの森〉2016/17年 ©Animal House

アニマルハウス—2017年に渋谷区立松涛美術館で開催された「三沢厚彦 アニマルハウス 謎の館」展以降、国内各所で展開されている。メンバーは舟越桂、小林正人、杉戸洋、浅田政志、三沢厚彦の5名。



〈animal-C White Rabbit〉
2023年 個人蔵
Photo by Okano Kei

KEYWORD
⑤ Multi-dimensions
多次元



〈コロイドトンプ (ヒトウマ)〉
1998年

KEYWORD
④ Koloido Tomp
コロイドトンプ



〈コロイドトンプ (Light foot)〉
1998年

KEYWORD
⑦ Vibration
(Sounds and Waves)
ヴァイブレーション
(音・波)



〈Bird 2018-02〉
2018年

KEYWORD
⑧ Sculpture and Architecture
彫刻と建築



〈Strut 2020-06〉 2020年

KEYWORD
③ Chimera
キメラ



〈Painting 2022-32〉
2022年

KEYWORD
⑥ Synchronicity
シンクロニシティ



〈Animal 2018-01〉
2018年
Photo by Onuma Shoji

三沢厚彦 | Misawa Atsuhiko
1961年京都府生まれ。幼少期から京都や奈良の仏像に親しむ中で、彫刻の魅力に惹かれ、彫刻家を志す。高校、大学と彫刻科で学び、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻を修了。小学生の頃からポピュラーミュージックにも親しみ、音楽に対する造詣も深い。2000年に動物の姿を等身大で彫った木彫「ANIMALS」シリーズの制作を開始。同年より西村画廊(東京)で個展開催。2007年から「三沢厚彦 ANIMALS+」展が平塚市美術館を皮切りに全国5会場を巡回。その後も現在まで各地の美術館で個展を多数開催。主な受賞歴に2001年第20回平塚田中賞受賞。2005年第15回タカシマヤ美術賞受賞。2019年第41回中原悌二郎賞受賞。現在、神奈川県在住。武蔵野美術大学造形学部彫刻学科特任教授。



作品画像: ©Misawa Atsuhiko Courtesy of Nishimura Gallery

展覧会関連イベント

事前申込制イベントの詳細や申込方法は、美術館ホームページをご覧ください。

作家によるギャラリートーク (事前申込制)

出演：三沢厚彦

① 6月25日(日) ② 8月13日(日)

いずれも18:00~19:00

8階展示室にて／定員30名／① 6月7日(水) 申込締切・② 7月26日(水) 申込締切／聴講無料(要展覧会チケット)

作家による滞在制作

不定期開催／7階展示室にて(要展覧会チケット)

山本精一ライブ (事前申込制)

① 7月30日(日) | Acoustic Evening

② 7月31日(月) | Electric Evening

いずれも16:30~17:30 (16:00開場予定)

7階展示室にて／定員40名／①②ともに7月12日(水) 申込締切／参加無料(要展覧会チケット)

ワークショップ

「樟で動物を彫ってみよう」(事前申込制)

講師：三沢厚彦

8月26日(土)、27日(日) 10:30~16:30

5階ワークショップルームにて／定員10名／対象：高校生以上・両日とも参加できる方／8月16日(水) 申込締切／要参加費

千葉交響楽団メンバーによるコンサート

8月11日(金・祝) 11:00~ (10:30開場予定)

1階さや堂ホールにて／先着80名(当日10:00より1階にて入場券販売)／入場料=1,000円(高校生以下500円)

市民美術講座「三沢厚彦の『多次元』世界—ANIMALSからカメラへ」

講師：森啓輔(当館学芸員)

7月22日(土) 14:00~15:30 (13:30開場予定)

11階講堂にて／先着80名(当日12:00より1階にて整理券配布)／聴講無料

みんなで!どうぶつデー

8月19日(土) 10:00~15:00 (定員に達し次第終了)

子どもから大人までみんなで参加できる、動物にまつわる謎解きゲームやワークショップを開催します。

担当学芸員によるショートレクチャー

6月14日(水)、8月15日(火) 14:00~14:30

7月15日(土) 17:30~18:00

1階多目的室にて／先着30名程度／参加無料

美術館ボランティアスタッフによるギャラリートーク

6月14日(水)をのぞく会期中の毎週水曜日

14:00~14:30

8階展示室にて／先着15名程度(当日13:30より8階受付にて整理券配布)／参加無料(要展覧会チケット)

※水曜日以外の14:00にも開催することがあります。

※混雑時には中止する場合があります。

託児サービスデー (事前申込制)

7月22日(土)、8月15日(火) 13:00~16:00

同時開催

4階子どもアトリエ

「つくりかけラボ12

三沢厚彦 | コネクションズ 空洞をうめる」

2023年7月14日(金)~10月15日(日)

休室日 | 8月7日(月)、9月4日(月)、10月2日(月)

観覧料 | 無料

「つくりかけラボ」は、「五感でたのしむ」「素材にふれる」「コミュニケーションがはじまる」いずれかのテーマに沿った公開制作やワークショップを通して空間を作り上げていく、参加・体験型のアーティストプロジェクトです。第12弾では、彫刻家の三沢厚彦がゲストとともに、千葉の街から着想を得たプロジェクトを展開していきます。

5階常設展示室

「千葉市美術館コレクション選」

動物をテーマとした近世、近代のコレクションや、詩人・北園克衛の写真による作品、画家・小林正人の絵画を紹介します。

「特集 北園克衛」2023年4月5日(水)~7月2日(日)／

「特集 小林正人」2023年7月5日(水)~10月1日(日)

休室日 | 第1月曜日

※「三沢厚彦 ANIMALS / Multi-dimensions」展をご観覧の方は無料

4階子どもアトリエ

「つくりかけラボ11 金田実生 | 線の王国」

2023年4月17日(月)~7月2日(日)

休室日 | 第1月曜日

観覧料 | 無料

「ANIMALS」関連グッズ

彫刻家 三沢厚彦の人気作品

「ANIMALS」初のフィギュア化!

海洋堂のフィギュアシリーズ第2弾(トラ)を企画展覧会の会期に合わせ、先行販売します。

三沢厚彦 ANIMALS トラ

ホワイト／ゴールド／ピンク：29,700円(税込)

三沢厚彦 ANIMALS クマ

スピリットベア／ツキノワグマ：19,800円(税込)

三沢厚彦 ANIMALS figure collection (全5種類／ランダム)

トリ(ブルー)／タヌキ／クマ(スピリットベア)／

トラ(ホワイト)／ゾウ：935円(税込)



©Misawa Atsuhiko ©KAIYODO

次回展予告

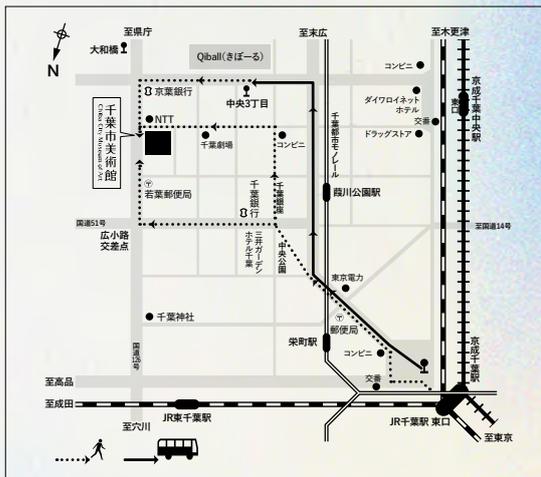
「new born 荒井良二 いつもしらないところへ たびするきぶんだった」

2023年10月4日(水)~12月17日(日)

「つくりかけラボ13

黒田菜月 | 鳥の名前を届ける (仮称)」

2023年10月28日(土)~2024年1月28日(日)



交通案内

JR千葉駅東口から

●徒歩約15分 ●バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分 ●千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約5分

京成千葉中央駅東口から

●徒歩約10分

東京方面から車では

●京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

●地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)。
●シェアサイクルスポットがあります。

千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8

Tel. 043-221-2311(代表)

<https://www.cma-net.jp>



※館内に新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行っております。体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。
※内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。